

2025 年 8 月 15 日



会社名 株式会社 BTM
(コード：5247 東証グロース市場)

**BTM ヘッドウォーターズと共同で AI エージェントサービスを本格始動
～AI エージェント活用による DX 推進を加速～**

株式会社 BTM（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO：田口 雅教、以下 BTM）と、AI ソリューション事業を手掛ける株式会社ヘッドウォーターズ（コード番号：4011 東証グロース、本社：東京都新宿区、代表取締役：篠田 庸介、以下ヘッドウォーターズ）は、生成 AI をはじめとする AI エージェント領域で協業を本格化いたします。



■背景と目的：

昨今、生成 AI 技術のビジネス活用があらゆる産業で本格化しており、大手企業から中堅企業まで業務効率化やサービス高度化のための AI エージェント導入ニーズが急速に高まっています。

こうした中、BTM とヘッドウォーターズは 2024 年 11 月に資本業務提携契約を締結し、AI 人材育成・先端プロジェクト開発で連携を深めてまいりました。同提携の狙いは、BTM の有する 10,000 件規模の全国ネットワーク・豊富な IT 人財プールと、ヘッドウォーターズの高度な AI 技術力を組み合わせることで、地方企業・自治体を含む全国への AI ソリューション展開を加速することにあります。

この度、提携から生まれた具体的成果とさらなる事業展開を発表することで、BTM における AI 事業の本格始動を対外的に明確化いたします。ヘッドウォーターズから BTM 子会社 BTMAIZ への AI 案件の戦略的連携も進んでおり、既に新規サービス創出が始まっています。

■共同プロジェクトの成果：

BTM の子会社 BTMAIZ は、ヘッドウォータースが有する AI エージェントの開発に戦略的パートナーとして参画しており、提携による成果が生まれています。

既に金融機関の AI エージェント支援や、製造業での Agentic Workflow 対応など、複数の企業での AI エージェントで実証が進んでいます。ヘッドウォータースが蓄積してきた RAG (Retrieval Augmented Generation) 技術により 99%以上の応答精度を実現しており、BTM にとっても新規事業創出のモデルケースとなりました。

今後、両社はこの AI エージェントサービスを BTM の既存顧客基盤にも展開し、プロダクトおよびソリューション提供による収益化を目指します。

■新規共同取り組み: AI エージェント対応データプラットフォーム構想

両社は、企業のデータ活用基盤を次世代型に進化させる新サービスを企画しています。それが、Microsoft の提供する統合分析基盤「Microsoft Fabric」を活用した”AI エージェント・レディ”データプラットフォームの構築支援サービスです。

Fabric はデータの蓄積から BI までをオールインワンで提供する最新のクラウドプラットフォームであり、企業内外に散在する大規模データを統合して高度な分析・AI 活用を可能にします。

BTM とヘッドウォータースは既に某大手商社向けに Fabric と Azure AI を組み合わせた生成 AI 基盤構築を支援した知見を汎用化し、あらゆる業界の企業が自社データに基づく AI エージェントを容易に導入できる環境を提供することが狙いです。

このサービスは、BTM のエンジニアリングリソースと、ヘッドウォータースのデータエンジニアや AI スペシャリストを融合したチームで提供します。現在、大手数社と PoC（概念実証）段階で協議中であり、2025 年内の正式リリースを目指しています。

■AI 人材育成・エンジニアリング強化：

両社は、協業効果の最大化を目的に人材育成を強化しています。

BTM 社内では、ヘッドウォータースが提供する Microsoft Azure 関連技術支援プログラムを展開し、両社の技術者数を増員してきました。これにより、Azure OpenAI や Fabric に精通したエンジニアが BTM 側でも育成され、急増する AI 案件に柔軟かつ大規模に対応可能な体制を構築しています。

今後も、定期的な合同勉強会やプロジェクトを通じて人材交流とスキル共有を推進し、AI ソリューション提供体制を強化してまいります。

加えて、両社は案件・エンジニア情報の迅速な交換を目的とした合同会議体を設置しています。これにより、BTM の DX ニーズに対し、ヘッドウォータースの専門チームを適時ア

サインするなど、柔軟なリソース計画を実現しています。短期的には受注案件の増加、長期的にはサービス品質の向上と顧客基盤の拡大を目指します。

■今後の展望：

BTM とヘッドウォータースは、本提携を通じて得られたシナジーをさらに深化させ、AI 領域でのサービス展開を一層拡大してまいります。

BTM はヘッドウォータースとの協業強化によって、AI に特化した子会社 BTMAIZ の事業拡大を図るとともに、全国のエンジニアリングリソースを駆使して AI イノベーションの全国展開を目指していきます。

今後、生成 AI や AI エージェントを核とした新サービスの共同開発や、大企業とのパートナー連携なども視野に入れ、提携効果を最大化していく所存です。

■参考：

株式会社ヘッドウォータースと株式会社 BTM、資本業務提携契約を締結
https://www.headwaters.co.jp/news/headwaters_btm_capital_alliance.html

・ AI エージェントとは

自律的に特定のタスクを実行するインテリジェントなシステムです。複数の AI モデルを組み合わせ、単一のモデルでは困難な高度なタスクを自動で実行します。企業では電話応対やスケジュール管理、データ入力などの業務を自動化するために利用されます¹。国内の AI エージェント市場は急速に成長しており、2024 年から 2030 年にかけて年平均成長率（CAGR）は 44.8%と予測されています。

・ RAG (Retrieval Augmented Generation)とは

大規模言語モデル（LLM）と外部データソースを組み合わせ、必要な知識を検索しながら応答を生成する技術です。ユーザーからの質問に対し関連する社内データベース等を参照して回答するため、根拠のある応答を返せる利点があります。世界の RAG 市場は 2024 年から 2030 年にかけて年平均成長率 44.7%で成長すると予測されています。

・ Microsoft Fabric とは

マイクロソフト社が提供するクラウドベースの統合データ&AI プラットフォームです。データの移動・蓄積から分析・BI までを網羅し、複数のツールを組み合わせることなく企業の分析ニーズに対応できます。OneLake と呼ばれる共有データレイクを中核に据え、データエンジニアリング、機械学習、リアルタイム分析、BI ダッシュボード等の機能が

統合されています。これにより、部門やツールごとにサイロ化したデータを一元活用し、高度な洞察を得ることが可能になります。

■商標について

Microsoft、Azure、Microsoft 365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft 365 は、Microsoft Corporation が提供するサービスの名称です。その他、記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【株式会社 BTM】

代 表：代表取締役社長兼 CEO 田口 雅教

設 立：2011 年 8 月

事業内容：DX 推進事業

本 社：東京都渋谷区神泉町 9 番 1 号 Daiwa 渋谷神泉ビル 2 階

U R L：<https://www.b-tm.co.jp/>

「日本の全世代を活性化する」をミッションに掲げ、地方に眠る人財を活用した DX 推進事業を行っております。設立以来構築してきた全国の開発会社とのネットワークをデータベース化し各地の開発案件とのマッチングを行う IT エンジニアリングサービス、独自のノウハウで育成した「自律型フルスタックエンジニア」が開発を担う DX ソリューションサービスを運営しております。

【株式会社ヘッドウォータース】

代 表：代表取締役 篠田 庸介

設 立：2005 年 11 月

事業内容：AI ソリューション事業

本 社：東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 4 階

U R L：<https://www.headwaters.co.jp>

AI ソリューション開発を主軸とするテクノロジー企業であり、生成 AI を活用したシステム開発やコンサルティングを通じて、企業の DX を支援しています。多岐にわたる業界に対し、クラウドネイティブ技術やデータ連携などの先端技術を組み合わせた独自のソリューションを提供しています。また、AI の社会実装を推進するため、研究開発にも積極的に取り組んでいます。顧客のビジネス課題を解決し、新しい価値の創造を目指しています。